

# トピックス

## ◆新首相にジョン・ターナー氏



トルドー前首相から祝福を受ける新首相。

カナダの新しい首相にジョン・ターナー氏が就任した。

自由党は、トルドー首相の辞意表明を受けて、六月十四日から十六日までオタワのコンベンション・センターで党大会を開き、かつてトルドー内閣のもとで法務大臣や大蔵大臣をつとめたジョン・ターナー氏（五十五歳）を新党首に選んだ。ターナー氏は、トルドー氏が六月三十日に首相の座を降りるとともに、十七代目のカナダ首相に就任した。

（ターナー氏の略歴や政見については、十二ページを参照。）

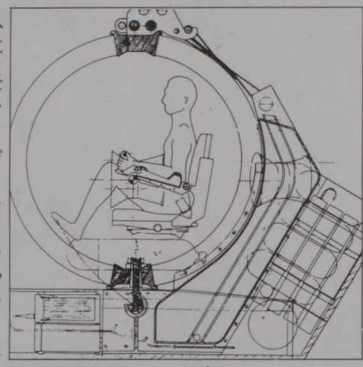
## ◆九月四日に総選挙

ターナー首相は七月九日、連邦下院議院選挙を九月四日に実施する、と発表した。七月に予定されていたエリザベス女王のカナダ訪問は九月二十四日まで延期された。

## ◆機動的な小型潜水艇 資源探査などに威力

水深千メートル以上の海底にすばやく潜水して、海底を自由自在に動き回り、四方八方を観察し、建設作業さえもできる小型潜水艇が、カナダで開発された。

ディーブ・ローバーと名付けられたこの潜水艇は、ガラス製の丸い金魚ばちにロボットの腕を取り付けた形をしている。ハリファックスにあるキャンタイプ・サービ



海底を「歩く」ディーブ・ローバー

ス社とディーブ・オーシャン・エンジニアリング社が共同で開発したもので、直径一・三メートルの透明な半球状の一人乗り操縦室、その下に取り付けられた電池式のモーターと海底を照らす電灯、そして自由自在に動く機械の「腕」からなっており、海底での資源探査や科学調査、建設作業などに威力を発揮するものと期待されている。

## ◆東京にカナダ製造業協会事務所 対日進出や工業品輸出を促進

日本に足場を作ろうとするカナダ企業に代理店を斡旋したり、工業製品の対日輸出を促進するため、六月一日、カナダ製造業協会東京事務所が設立された。所長は、二十数年にわたって在日し、昨年未だアンドリユース商会（東京・芝公園）の社長をつとめたモーリス・アンダーソン氏。

## ◆日加経済人会議が閉幕 産業協力を新しい見通し

カナダと日本の間の貿易や投資について討議する第七回日加経済人会議が、五月十四日から三日間、神戸市の神戸国際会議場で開かれた。会議は、両国から約三百六十人の経済界トップが参加、全体会議のあと、エネルギー、農水産、工業製品、観光など十二の分科会に分かれ、当面する課題について討議、最終日は分科会の意見を集約して閉会した。

今回の会議は、カナダ国内の高い失業率や日本側の輸入停滞などを背景に、カナダからの工業製品の対日輸出増大、日本からの工場進出などが焦点となった。閉会后、日本側代表・横田久生

氏（日本鋼管会長）、カナダ側代表・デビッド・カルバー氏（アルカン社社長）などによる記者会見が行なわれたが、それによると技術交流を基礎に、合弁事業など製造業分野における産業協力の展望が開けたという。その具体的な根拠として、今年三月、日本の自動車・同部品メーカーの共同出資でトロントに設立された日加自動車産業協力促進会社や、六月に開設されたカナダ製造業協会東京事務所を例にあげた。

## ◆BC州北東炭開発プロジェクト 六月に工事完成祝賀式

ブリティッシュ・コロンビア州北東部で進められていた、日加合同による炭鉱開発プロジェクトの工事完成祝賀会が、六月上旬、鉱山現場や新設された鉄道の操車場、石炭積み出し港などでおよそ一週間にわたってくり広げられた。祝賀式には、連邦政府、BC州政府、カナダ側の関係者のほか、日本からも日本鋼管、新日本製鉄などから多くの関係者が参加した。

BC州史上最大の産業開発で、カナダ全体でも最大の鉱山開発となったこのプロジェクトは、クイントットおよびテック・ブルムーアの両石炭会社が炭鉱（クイントット鉱山はカナダ最大の原料炭の鉱山で、原料炭・一般炭合わせて年間六百三十万トン、ブルムース鉱山は年間百七十万トンの原料炭を生産する計画）を開発するほか、



掘り出し現場から洗浄プラントへ延びる13キロのコンベア。

ナダ港湾公社がBC州沿岸のプリンス・ルパートに石炭積み出しのターミナルを整備する——といった、大規模かつ総合的な開発プロジェクト。投下資本総額は、二十五億ドルにのぼる。

施設はほとんどすべて完成し、すでに昨年十二月には、日本向けに石炭の出荷が開始されている。

## ◆東京・新木場にトームポール BC州林産業審議会が寄贈

東京都江東区にある木材の町・新木場に、ブリティッシュ・コロンビア州林産業審議会から贈られたトームポールが立てられ、五月十七日、除幕式が行なわれた。立てられたのは、建設が予定されている国鉄京葉線新木場駅の近くの広場で、日加親善と新木場の発展という期待が込められている。

トームポール（写真）は、樹齢三百年のカナダ杉（カナディアン・シーダー）にワタリガラス、熊、人間などを彫った本格的なもので、